

○産業建設常任委員会

1. 委員構成（6名） 委員長 荒川一秀 副委員長 島田清一郎
委員 野村武勝、田村昌男、福島ヤヨビ、石井 旭

2. 所 管 都市建設部、産業経済部、水道局、農業委員会事務局

3. 審議内容（26件）

付託案件	件数	審議結果			
条 例 案	5件	可決すべきもの	5件	否決すべきもの	0件
補正予算案	15件	可決すべきもの	15件	否決すべきもの	0件
その他議案	5件	可決すべきもの	5件	否決すべきもの	0件
請願・陳情	1件	採択すべきもの	0件	不採択すべきもの	1件

4. 所管部署の主な実施事業

(1) 広域幹線道路整備事業

路線名	事業期間	用地取得率 (R3.5末現在)	事業進捗率 (R3.5末現在)	R3年度事業費 (単位:千円)
栗又四ヶ線 (上馬場～栗又四ヶ)	～令和5年度	82%	65%	300,000
市道美1627号線 (岩間にアクセス)	令和3年2月16日 供用開始	100%	100%	0
市道小10916号線 (空港アクセス 竹原～野田)	令和3年6月16日 供用開始	100%	100%	0

(2) 玉里地区地籍調査事業

地籍調査(再調査)事業の調査計画面積は、総面積で10.89km²、年間の調査面積は、0.29km²～1.06km²。事業期間は、認証の終了まで14ヶ年の計画(令和2年度一部変更)となっている。

本事業は、今年で6年目となり、これまでの成果は、川中子地区の登記が完了(令和2年1月6日付)し、公図(地図)の修正作業が完了(令和3年1月6日付)している。現在は、下玉里Ⅰ地区(大井戸平山区)の登記事務の完了を待っている状況。

今年度は、事業費9,948万3千円を計上して、下玉里Ⅱ地区(岡区)の登記事務、高崎Ⅰ地区(下高崎区、上高崎区の一部)の閲覧から認証請求事務、高崎Ⅱ地区(上高崎区)の一筆地調査から一筆地測量業務、上玉里Ⅰ地区(松山、第二東宝、玉里中台の一部)の地元説明会の開催を予定している。

玉里地区の地籍調査については、昭和41年頃からの早い時期に実施したため、プラスチック杭等の永久標識を設置する義務も無く、平板測量という方法で行った。そのため、現在では建物の建築確認申請、土地の売買、道路の拡幅等の土地活用の際に、現地に境界標識がほとんど無いため、非常に不便をきたしている。この事業については、合併前からの懸案事項であり、議会でも度々議論され要望をしてきた経緯がある。今回の事業の成果により、境界確認のための負担が大幅に軽減されるとともに、市役所が保管、管理している測量データを活用することにより、境界標識の復元が出来るようになる。

(3)羽鳥駅周辺整備事業(経過)

年 月	経 過
平成29年4月	羽鳥駅橋上駅舎及び東西自由通路新設工事契約を議決
平成29年4月	議会の議決によりJRと施行協定書を締結
平成29年5月	羽鳥学区区長会への説明, 広報紙等で事業概要の周知
令和元年6月	羽鳥駅橋上駅舎及び東西自由通路 一部供用開始
令和元年6月	既存駅舎・人道橋、ホーム内跨線橋解体工事 西口階段等工事
令和2年2月	羽鳥駅橋上駅舎及び東西自由通路全面供用開始
令和3年4月	羽鳥駅東西駅前広場供用開始

羽鳥駅周辺整備事業については、平成20年度に小美玉市総合計画への位置づけがされてから約13年目の令和2年度末、橋上駅舎及び東西自由通路に接続する羽鳥駅東西駅前広場が供用開始された。

今後は、駅東口市有地について建築物系個別施設計画(案)に対するパブリックコメントでの市民の方からの様々な意見を踏まえて、有効活用できるよう検討していくとのことで、当面の間は様々な利活用が図られるよう広場として整備していく。

